

2024年度

11月19日

〈中学〉帰国生 Advanced 選考

帰国生
①
中学

帰国生
①
中学

日本語作文

注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
- 2 解答の下書きが必要なときは、この問題用紙の余白を利用しなさい。
- 3 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
- 5 試験終了後、問題用紙と解答用紙の両方を提出しなさい。
- 6 句読点、符号等は字数に数えなさい。
- 7 本文中には、問題作成のために省略や表現を変えたところがあります。

かえつ有明中学校

二〇二四年度 〈中学〉帰国生入学試験 【アドバンスト選考】 日本語作文

二〇二三年十一月十九日実施

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問に字数指定がある場合は、句読点や符号も一字と数えます)

自律性とは「自分を自分で律することができる」ということであり、一方、他律性とは「他者に律される」、つまり他人の言いなりになってしまふということだ。

はい、また ① 難しい言葉使いやがったな、と思いました？ それについてはすみません。でも、内容は ② 簡単です。他者に頼らないでいられることが自律性、他者に頼らないでいられないことが他律性です。ね、簡単でしょ？

私たちは多くの場合、自律性こそが大切だと教えられて育ちます。私も小学生のころは「自分で考え、自分で行動しよう」と先生にいつも言われていました。何かがわからなくて答えを聞こうとすると、「まずは自分で考えてみなさい」と怒られたものです。

ただし、自律性と他律性が、まるで水と油のように、決して交わることなく対立するものとして捉えられるなら、そうした考え方には疑問の ③ 余地があります。たとえば「自律的であるためには他律的であつてはならず、また他律的であるならば決して自律的ではない」という考えは、おそらく私たちの現実を ④ ハンエイしたものではありません。

自分ひとりの力では、自分のアイデンティティを形成することも、認識することもできないからです。

アイデンティティとは、言い換えれば「自分は何者なのか」「自分にはどんな可能性があるのか」ということについての自分なりの理解です。

たとえば子どもは、大人からさまざまな可能性を ⑤ 提示され、それを一つ一つ試していくことによって、自分を少しずつ知っていくこととなります。

ある子どもが歌をうたったとき、そばにいた大人がそれを聞き、うれしそうに微笑んだとしましょう。するとその子は、「自分には歌をうたうことができるんだ。そしてそれによって、他の人を ⑥ ヨロコばせることもできるんだ」と気がつきます。そうした、他者とのかわりからもたらされる気づきの蓄積が、「自分は何者なのか」「自分には何ができるのか」というアイデンティティの形成には欠かすことができないのです。

子どもは、まわりの大人から ⑦ セワや関与を受けることなしに生きていくことはできません。その意味で、子どもは自分を育ててくれる大人たちに対して他律的です。しかし、その他律性は、子どもの人生から自律性を奪い去ることを決して意味しません。むしろ反対に、自律性とはそうした他律性のなかからしか育まれてこないものなのです。

つまり、自律性と他律性はつながっています。私たちは、自分が何者であるかを知り、自分のアイデンティティを確立するため、どうしても他者の力を ⑧ かりなければならぬのであり、それは決してよくないことではなく、むしろ人が成長していく上で自然なあり方なのです。

同じことが、子どもだけでなく大人についても言えます。大人もまた、他者の影響を受けながらアイデンティティを形成するのです。そして、大人にとってのそうした他者の代表例が、友達です。

たとえばみなさんは、受験や、クラブなどへの申し込み、何かの活動などのために、自分の ⑨ セイカクや長所を書類に書いて提出しなければならなくなったとき、何を書いたらいいのかわからなくなることはありませんか。そんなときに有効な対処法の一つは、友達にアイデアを書いてもらう、という方法です。そうして書かれたものを見て、「なるほど、自分にはこういう長所があるのか」と、はじめて自分の ⑩ コセイに気づかされることはよくあることです。

反対に、私が友達に長所を書いてあげたことも何度かあります。私としては、その友達の長所としてはあまりにもあたりまえなことを書いてあるつもりなのに、それを読んだときの友達の顔は、たいいていの場合ほうつすらとした驚きに包まれています。それくらい、私たちは自分のことをよくわかっていないのです。

(戸谷洋志『SNSの哲学 リアルとオンラインのあいだ』より)

問一 線①～⑩のカタカナは漢字に直し、漢字については読みかたをひらがなで答えなさい。

問二 1にあてはまる言葉として、もつとも適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア たとえば イ ただし ウ なぜなら エ だから

問三 右の文章をふまえた上で、あなたはどのようなことを考えましたか。これまであなたが見たり聞いたりしたことを紹介しながら、四百字以内で書きなさい。

